

ロシア東欧 経済速報

社団法人 ロシア東欧貿易会 東京都中央区新川1-2-12 金山ビル 郵便番号104 電話 (3551)6215~9
ロシア東欧経済研究所 購読料 送料共前納 ・ 1ヵ月 1,200円 1ヵ年 14,000円

平成6年1月15日

No. 943

1993年のロシア経済の回顧と1994年の展望

はじめに

1994年の年頭にあたり、本号ではロシア経済の1993年の動向を分析するとともに、1994年の発展方向を展望することとする。

本稿は当会ロシア東欧経済研究所調査部長村上隆の執筆によるものであり、執筆者個人の見解であることをお断りしておきたい。

要約

1993年のロシアはまさに激動の1年であった。深刻な事態に陥っている経済そのもので、果てしなく続いた大統領と議会との政治抗争は4月25日の大統領信任投票（支持率58%）を経て、10月3日には武力衝突に発展し、翌4日早朝の最高会議ビルへの砲撃という民主国家では考えられないような異常な手段によって大統領側の勝利という結末を迎えたのであった。さらに年の迫った12月12日には連邦議会選挙が実施され、同時に行われたロシア新憲法の是非を問う国民投票では58.4%の賛成率が得られ、大統領に強大な権限が付与されることになったのである。その反面議会選挙では過激な言動が目立つ極右のジリノフスキー氏を党首とする自由民主党や共産党などの保守的な民族派が大躍進を遂げ、大統領は今後の議会にまた新たに燃え上がる火種を抱え込むことになった。このような保守派の台頭を促した背景には経済悪化による市民の生活不安がある。ジリノフスキー氏は選挙スローガンで3~4